

真田フォーラム
2011

8.18
.19

真田幸弘点取俳諧の世界

昨年実施した真田フォーラム 2010 を引き継いで、本年は、松代藩六代藩主真田幸弘（元文 5（1740）2・18～文化 12（1815）9・5 俳号菊貫・白日庵等）が一座した俳諧の中味について検討します。具体的には幸弘公が執心した点取俳諧を俳諧史上から解明し、また百韻連句作品をどう読むかについて講演していただきます。この基調講演に基づいて、真田を中心とした点取俳諧の意義を明らかにして、その魅力に迫りたいと考えています。

8 月 18 日（木）午後 1 時 30～4 時 30 分 松代公民館（長野市松代町）

講演：（1）大名俳諧と点取俳諧 伊藤善隆氏（湘北短期大学准教授）
（2）真田連句（百韻）の読み方 二村文人氏（富山大学教授）

フォーラム：真田点取俳諧の意義と魅力（提言） 玉城 司（清泉女学院大学教授）
フリーディスカッション（司会） 平林香織（岩手医科大学教授）

8 月 19 日（金）午前中 連句資料等文献調査 於真田宝物館

共催：真田宝物館 **協力：**清泉女学院大学 松代町公民館

備考：本研究は、全国の大学の研究者、松代を中心とした市民の古文書研究者、大学院生・長野県内の学生を結ぶ、ネットワークによって実施されます。

「真田文書アーカイブの構築及び松代藩六代藩主真田幸弘の点取俳諧に関する研究」（平成 22 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））22520252）の補助を受けて実施します。